



高山祭屋臺からくり競演

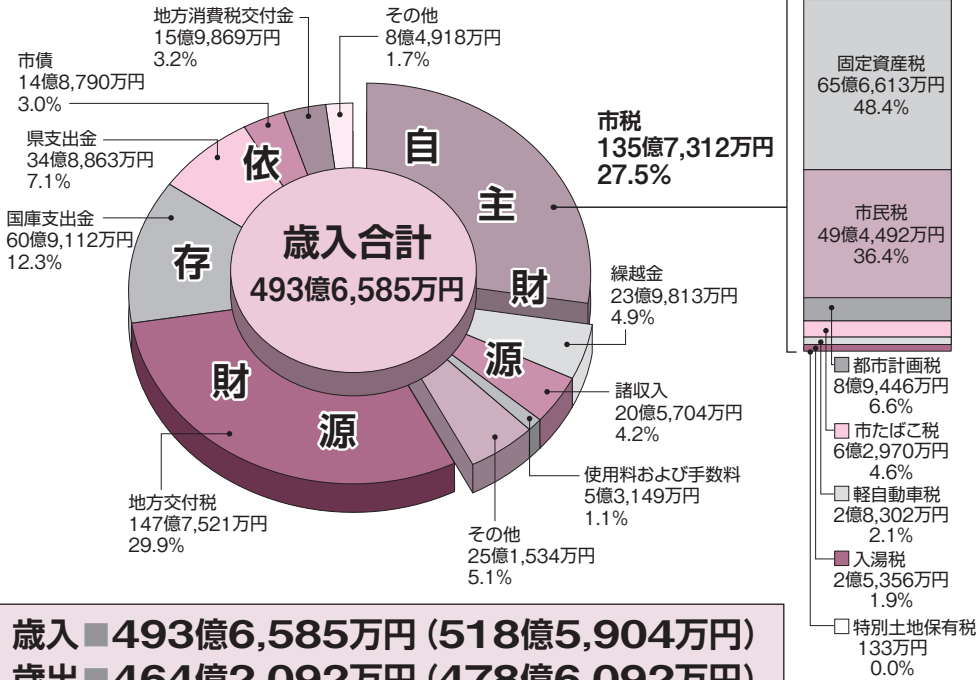


市制施行30周年記念式典



高山駅自由通路完成

歳入(入ったお金)と歳出(使ったお金)の内訳【一般会計】



歳入 ■ 493億6,585万円 (518億5,904万円)
 歳出 ■ 464億2,092万円 (478億6,092万円)
 ※ () は平成27年度決算

平成28年度

決算報告

平成28年度の各会計の決算がまとまったので、今号ではその概要を紹介いたします。

平成28年度は、市制施行80周年を迎えるとともに、「高山祭の屋台行事」のユネスコ無形文化遺産の登録や「飛騨匠の技こころー木とともに、今に引き継ぐ1300年ー」の日本遺産認定など、市政にとって節目となる年でした。

市では、これらを契機にさらにまちの魅力を高め将来につなげていくため、記念式典の開催や高山祭屋臺からくり競演など各種事業を実施しました。

また、放課後児童クラブの対象学年の拡大など福祉の充実やUターン就職者に対する奨励金など若者の地元就労・定住の促進、高山駅自由通路をはじめとする道路環境の整備などにも取り組みました。

一般会計の決算は、歳出合計が464億2,092万円、翌年度への繰越財源を除いた実質収支は19億6,022万円の黒字となりました。

Topic 財政の用語

- 自主財源** 市が自らの手で徴収、または収納できる財源のこと。市税、使用料、手数料、寄附金などがあります。
- 依存財源** 収入にあたって国や県の関与を受ける財源のこと。地方交付税、国庫支出金、県支出金などがあります。
- 地方交付税** 地方公共団体が等しく合理的かつ妥当な水準で事務を遂行し、財産を管理することができるように、市の財政力に応じて国が交付するお金のこと。
- 市債** 市がする借金のこと。